

令和 6 年度 学校評価書 ( 計画段階 )

福岡県立 小倉西 高等学校

13

<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>知性と品格を備え、社会をけん引する人材を育成する学校。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学び続け自己実現を目指す生徒の育成</li> <li>他者を尊重し、他者と協働する力を持った生徒の育成</li> <li>変化に柔軟に適応する力を持った生徒の育成</li> </ul>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的・協働的に企画運営する学校行事の実施</li> <li>地域の教育資源を活用した体験活動・探究活動の実施</li> <li>ICTを活用した個別最適な学びの提供</li> </ul>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの将来を真剣に考え、主体的に学ぶ意欲を持った生徒</li> <li>協調性や主体性に富み、豊かな心を持った生徒</li> <li>失敗を恐れず何事にも積極果敢に挑戦する生徒</li> </ul>

<p>学校運営計画(4月)</p>				
<p>学校運営方針</p>	<p>Agency(主体性・自立性)教育の推進</p>		<p>評価 (総合)</p>	
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>		
<p>主体性を重視した教育の推進に 取り組み本年度で4年目である。 徐々に成果をあげている。 3つのコンピテンシー「主体的に学 び続ける力」「他者と協働する力」 「社会と関わる力」の更なる育成を 目指し、特に課題発見能力・課題解 決能力の育成と表現力及びコミュニ ケーション能力の向上を図る。</p>	<p>確かな学力の育成</p>	<p>学習指導要領や大学入試改革の動向等に対応したカリキュラムの構築 と観点別評価の確立</p>		
		<p>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善と教授内容の高度 化(一人一台パソコン等ICTの利活用)</p>		
	<p>キャリア教育の充実</p>	<p>SDGsをテーマとする文理融合型探究活動の推進(産学官との連携強 化)と充実(課題発見能力・課題解決能力の育成と表現力及びコミュニ ケーション能力の向上)</p>		<p>進路実現に効果的なキャリア教育の推進 (中高連携、高大接続連携等学校外の教育力の活用)</p>
		<p>豊かな人間性の育成</p>		<p>挨拶・服装・礼儀等、品格ある言動を身に付けさせる生徒指導の充実 成人年齢引き下げに伴う主権者教育、消費者教育の推進</p>

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
学習指導	「指導と評価の一体化」の確立に向けた授業改善と教授内容の高度化	観点別評価を教科内で共有し、本校の評価スタイルを確立する。	授業アンケート	
		観点別評価基準を確実に生徒に提示し、確かな学力を身につけさせるとともに生徒の学習意欲の向上を図る。		
	個別最適な学びの実現に向けたICTの利活用	授業を通じて進路実現に向けた学力を養成できるよう、知識・技能の確実な定着を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実践し、思考力・判断力・表現力を育成する。	授業アンケート	
		個別最適な学びの実現に向けたICTの利活用促進の取組を行う。		
生徒指導	挨拶・服装・礼儀等品格ある行動の推進	自学の時間「Agency time」や面談週間を活用し、学習習慣の確立及び改善に取り組ませる。	学校生活アンケート 家庭用チェックリスト	
		外部機関と連携を図り、自己指導力の育成に帰する講演会を実施する。		
	危機管理・規範意識・道徳観の向上	生徒会中心の学校行事を実施し、地域に公開する場面を作る。	学校生活アンケート 家庭用チェックリスト	
		生徒会、委員会を中心に声かけを行い、更なる品格の向上に努める。		
進路指導	進路探究力の醸成	SNS等によるトラブルを未然に防止するための啓発を行う。	スタディー・サポート学習状況リサーチ 進学・就職実績	
		規範意識育成講演会を実施し、身近な情報を周知する。		
	キャリア教育の推進	自己の健康管理の意識を向上させ、感染症予防に努める。	進学・就職実績	
		1年次からオープンキャンパスや進路ガイダンスへの参加を奨励し、学部学科研究を深めさせる。		
	キャリア教育の推進	新課程入試に関する最新情報を生徒・保護者・職員へ提供する。	進学・就職実績	
		共通テスト新科目「情報Ⅰ」を特別補講等に組み込むなど、新課程入試に対応できる指導体制を構築する。		
	職員研修・図書館教育の充実	学年統括部と連携しながら高大連携授業や出前講義を実施し、生徒の参加を推奨する。	授業アンケート	
		総合的な探究の時間を活用し、生徒が自身を見つめ直す機会を設け、進路について具体的に考えさせる。		
	職員研修・図書館教育の充実	進路に関する情報を職員に伝え、担任や進路指導部職員から生徒及び保護者に発信する。	授業アンケート	
		教職員としてSociety5.0に対応するために必要な情報を提供できるよう職員研修を充実させる。		
	職員研修・図書館教育の充実	職員の授業改善や指導力の育成を支援する。	授業アンケート	

様式3

企画・研修		教育内容をより充実させるため、教育活動全体で図書館の活用を推進する。		
	教育活動の円滑化	式典が円滑に実施できるよう各学年・校務分掌等と連携をとる。	学校生活アンケート	
		日割割や行事予定表等の作成を滞りなく行い、教育活動が円滑に行われるようにする。		
学校要覧の作成や、諸会議の資料の保管を滞りなく行い、教育活動が円滑に行われるようにする。				
学年統括	主体性を育む「総合的な探究の時間」の構築	九工大や北九大との更なる連携を図り、生徒の探究活動の場を広げる。	学校生活アンケート	
		西高サステイーン、西高ITチャレンジの活動を通して本校の長所を対外的に発信する。		
		生徒が課題を見出す機会としてエコタウンセンターや大学との企画を実施する。		
学校行事とSDGs活動の推進		「総合的な探究の時間発表会」の充実や「SDGs企画」への積極的参加を促す。	学校生活アンケート	
		企業や公的機関とより強固な連携を図り、探究活動の更なる充実を図る。		